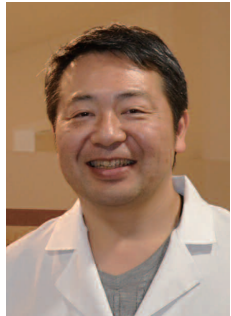


黄斑円孔について

今回は黄斑円孔という病気についてお話しします。

黄斑円孔とは、文字通り、黄斑部(視力を引き出す網膜の一番重要な部分)に穴が開いてしまう病気です。いろいろな原因で穴が開きますが、黄斑部の真ん中は網膜の中でももっとも薄い場所のため、眼の中で通常とは



伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

違う力が働くと障害されやすい繊細な部分です。症状としては、見たい場所が薄暗く見えたり、欠けていたりして、徐々にその範囲が広がるといった具合です。

以前お話しさせていただいた黄斑前膜から進んで、黄斑円孔を引き起こすこともあります。近視の強い方に多い傾向があるのですが、網膜剥離に移行するケースもあります。

強度近視の黄斑円孔網膜剥離といえはこの疾患が取り上げられて学会で討論されるくらい、難

治性であり、多くの手術手技もまたまた検討されている疾患です。

最近、黄斑円孔の手術が提唱され、多くの施設が試行錯誤しながら追隨している状況ですが、まだ結論は出ていません。

一般的に、手術でしか治療できず、方法は硝子体手術で、網膜10層の一番内層の厚さ5μm(5/1000mm)の内境界膜を剥がし、網膜に伸展性を持たせ、眼球内に空気(施設によってはガスも)を充填して網膜を伸ばし穴を塞ぎます。

円孔の大きさにより、また近視の度合いにより閉鎖率は異なります。

また、閉鎖したとしても、中心部の薄暗さが残る方もいますが、黄斑円孔と診断された際は、視

力が下がっているときは当然ですが、将来的な剥離の危険性の軽減のため手術を受けることも検討した方が良いでしょう。



【保谷伊藤眼科】
西東京市北町1-6-1 レッツビルディング3F
☎ 042-439-8123 ※無料駐車場完備
<http://www.itoganka.com/>

■診療科目 眼科：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術、白内障手術、眼科一般診療

■診療時間 水・土曜午後、日曜、祝日は休診
※緊急手術には随時対応 ※月・金曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	手術	○	○	／
14:00~17:00	検査・診察	手術	／	手術	検査・診察	／	／